

【2025年最新版】賃貸住宅対象省エネ補助金一覧(I)

賃貸住宅の省エネエネルギー化は、オーナーにとつて避けられない課題です。国や自治体は住宅のエネルギー効率を高める取り組みを支援する為、多岐にわたる補助金制度を用意しています。断熱性能向上やエコ設備の導入等、これららの支援を最大限に活用する事が経営効率の向上や長期的な競争力強化につながります。今回は、国による省エネ関係の主な補助金情報をまとめて解説します。

子育てグリーン住宅 支援事業

は、「子育てグリーン住宅支援事業」、「給湯省エネ2025事業」の2つです。既存住宅のリフォームで活用できるのは、「子育てグリーン住宅支援事業」、「先進的窓リノベ2025事業」、「給湯省エネ2025事業」、「賃貸集合給湯省エネ2025事業」の4つです。

住宅省エネキヤンペーン (国土交通省・環境省・経産省・3省合同)

前年に続き、2025年も国土交通省、環境省、経産省の3省連携で「住宅省エネキヤンペーン」を継続し、賃貸住宅も含めて幅広く支援する内容となっています。新築住宅で活用できるの

ケイアイ通信



ケイアイグループ

アンケートにご協力ください。
2025年
6月号

が、該当期間中に入居者を確保できなかった場合は、子育て世帯以外にも入居者対象を広げて良い事としています。

また、子育て世帯向けに補助金額を勘案した合理的な優遇家賃を設定する必要があり、「子育て世帯」であります。新築住宅を対象とした GX志向型住宅を新設

・GX志向型(全ての世帯)
「子育て」と事業名についています。新築住宅を対象とした GX志向型住宅を新設等に配慮した安全性・防犯性を高めるための技術等に適合している事も

新築住宅を対象とした GX志向型住宅を新設し、断熱等性能等級6以上等ZEH基準を超える省エネ水準の他、床面積等の条件を満たした住宅が対象です。

既存住宅のリフォーム等については、SタイプとAタイプに分かれ、必須工事で

1戸あたり最大160万円が補助され、立地にも除外要件がある他、工事請負契約を締結するにはグリーン住宅支援事業者等、多岐にわたる要件があり、公式HPでの確認が必須です。

既存住宅のリフォーム等の条件を満たした住宅が対象です。

既存住宅のリフォーム等については、SタイプとAタイプに分かれ、必須工事で

ある①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置、の3種全てを実施すればSタイプ、いすれか2種の場合

補助額はSタイプが最大60万円/戸、Aタイプが最大40万円/戸です。特に賃貸の共同住宅において、躯体の断熱改修は現実的でないかもしれません、①の2種でAタイプの活用は十分想定されます。

参考／全国賃貸住宅新聞2025年4月11日の記事より
(次号に続く)

事で、事業を強化します。賃貸住宅の場合、新築後3カ月間は入居募集の対象を子育て世帯に限定する条件も設けています

近年、不動産業界においてもA-Iの導入が進み、業務の効率化が加速しています。最適な賃料設定や空室対策等、AIを活用する事でオーナー様へより精度の高いご提案が可能となり、我々にとってもオーナー様にとつても大きなメリットとなります。

しかし、そんな時代だからこそより大切にしなければならないのが、オーナー様との信頼関係であり、パートナーとしての関係性です。オーナー様が「何でも気軽に相談できる」「この会社に任せてよかつた」と感じていただける存在であり続ける事が、我々の使命です。これからも、先進技術と人間らしさとの両立を目指し、オーナー様の賃貸経営を全力でサポートしていきます。

黒木代表の ひとことコラム

ケイアイホームのスタッフを中心に、グループ各社・各事業部のスタッフを紹介いたします。



今回は、(株)ケイアイホーム 課長 森本英治編です。

私がこの会社に入社して早10年目となります。が、現在は広島エリアの課長として、複数店舗の管理業務をしています。どの地域のどんな住まいを選ぶかという事は、人が生活をする上でとても大切な事です。引越しをして新しい住まいを決める理由には、良い事だけでなく、そうでない事も多々あります。様々な背景を持つ方々に寄り添い、相談に乗らせていただきながら、その方に適したご提案ができるこの仕事には、日々からやりがいと魅力を感じています。

この仕事をする上で私が最も大切にしている事は、常に誠実であることです。「無理な事は無理だときちんと伝える確認する事」、「経験値や憶測で回答をせず常に情報をえています。競合他社も当たり前の事ですが、スタッフにも徹底して伝えています。競合他社も多応については、絶対的にあります。



(株)ケイアイホーム 西原駅前店
〒731-0113 広島市安佐南区西原7丁目7-1

私がこの会社に入社して早10年目となります。が、現在は広島エリアの課長として、複数店舗の管理業務をしています。どの地域のどんな住まいを選ぶかという事は、人が生活をする上でとても大切な事です。引越しをして新しい住まいを決める理由には、良い事だけでなく、そうでない事も多々あります。様々な背景を持つ方々に寄り添い、相談に乗らせていただきながら、その方に適したご提案ができるこの仕事には、日々からやりがいと魅力を感じています。

この仕事をする上で私が最も大切にしている事は、常に誠実であることです。「無理な事は無理だときちんと伝える確認する事」、「経験値や憶測で回答をせず常に情報をえています。競合他社も多応については、絶対的にあります。

私はこの会社に入社して早10年目となります。が、現在は広島エリアの課長として、複数店舗の管理業務をしています。どの地域のどんな住まいを選ぶかという事は、人が生活をする上でとても大切な事です。引越しをして新しい住まいを決める理由には、良い事だけでなく、そうでない事も多々あります。様々な背景を持つ方々に寄り添い、相談に乗らせていただきながら、その方に適したご提案ができるこの仕事には、日々からやりがいと魅力を感じています。

私はこの会社に入社して早10年目となります。が、現在は広島エリアの課長として、複数店舗の管理業務をしています。どの地域のどんな住まいを選ぶかという事は、人が生活をする上でとても大切な事です。引越しをして新しい住まいを決める理由には、良い事だけでなく、そうでない事も多々あります。様々な背景を持つ方々に寄り添い、相談に乗らせていただきながら、その方に適したご提案ができるこの仕事には、日々からやりがいと魅力を感じています。

相続MEMO知識

このコーナーは、相続と認知症対策に関する情報をシリーズでお伝えしていきます。

Vol.59 「ご両親からの相続対策完了」編

相続の不安や疑問・心残りなど、潜在的な問題を顕在化し解決いたします。

皆様はご両親からの相続をご経験された事がありますでしょうか?相続なつかつた、相続税が高くて大変だった、兄弟姉妹で揉めてしまつた、声の大きい身内がいたので自分は我慢した、兄弟姉妹の配偶者の意見でこじれてしまつた等々、相続対策やその結果は十人十色で、今までに沢山のご相談を受けさせていただきましたが、今回はすでに完了した相続対策事案です。

父(70代)と兄(40代)、弟(40代)4人家族のご相談でしたが、ご両親の離婚後、母と2人の兄弟、所有資産はご自宅と現預金と生命保険でした。

兄は県外で就職し、弟は地元で母の近く住んで働いているという状況で、兄弟で話合いがなされ、兄は弟に対して、県外で母の面倒を見ていなかつた過去の経緯とこれから的事も考慮し、弟が自宅と現預金を相続する話し合いをし、母に見えていました。競合他社も多応については、絶対的にあります。



「家族の幸せから考える相続」をプロデュースします。 松下浩仁

一方、離婚した父の相続については、現在は再婚者との間に5人の子供がいるとの事で、相続発生時は兄弟姉妹で揉めてしまつた、声の大きい身内がいたので自分は我慢した、兄弟姉妹の配偶者の意見でこじれてしまつた等々、相続対策やその結果は十人十色で、今までに沢山のご相談を受けさせていただきましたが、今回はすでに完了した相続対策事案です。

父(70代)と兄(40代)、弟(40代)4人家族のご相談でしたが、ご両親の離婚後、母と2人の兄弟、所有資産はご自宅と現預金と生命保険でした。

兄は県外で就職し、弟は地元で母の近く住んで働いているという状況で、兄弟で話合いがなされ、兄は弟に対して、県外で母の面倒を見ていなかつた過去の経緯とこれから的事も考慮し、弟が自宅と現預金を相続する話し合いをし、母に見えていました。競合他社も多応については、絶対的にあります。

一方、離婚した父の相続については、現在は再婚者との間に5人の子供がいるとの事で、相続発生時は兄弟姉妹で揉めてしまつた、声の大きい身内がいたので自分は我慢した、兄弟姉妹の配偶者の意見でこじれてしまつた等々、相続対策やその結果は十人十色で、今までに沢山のご相談を受けさせていただきましたが、今回はすでに完了した相続対策事案です。

父(70代)と兄(40代)、弟(40代)4人家族のご相談でしたが、ご両親の離婚後、母と2人の兄弟、所有資産はご自宅と現預金と生命保険でした。

兄は県外で就職し、弟は地元で母の近く住んで働いているという状況で、兄弟で話合いがなされ、兄は弟に対して、県外で母の面倒を見ていなかつた過去の経緯とこれから的事も考慮し、弟が自宅と現預金を相続する話し合いをし、母に見えていました。競合他社も多応については、絶対的にあります。

全国の家賃・間取り動向及び グループ内の問い合わせ動向

「データCLIP」ケイアイお役立ち情報

■全国賃貸物件家賃動向

都道府県	1部屋 (円)	前年同月比	2部屋 (円)	前年同月比	3部屋 (円)	前年同月比	総平均賃料 (円)	前年同月比	東京100%
									水準
埼玉県	55,206	1.9%	65,757	1.8%	75,922	-0.6%	61,265	1.1%	82%
千葉県	55,406	1.9%	62,932	3.6%	75,468	2.5%	59,747	1.7%	80%
東京都	71,517	1.5%	91,929	2.0%	99,637	0.4%	75,053	1.6%	100%
神奈川県	58,683	2.6%	76,164	1.2%	85,597	-5.1%	65,165	1.5%	87%
愛知県	53,384	1.9%	60,076	1.7%	67,967	4.1%	57,504	1.7%	77%
奈良県	46,872	-1.8%	60,728	4.3%	63,123	5.4%	53,705	2.6%	72%
京都府	52,937	0.3%	73,763	8.4%	83,561	3.9%	57,348	2.1%	76%
大阪府	55,367	2.5%	70,538	1.0%	76,447	-1.5%	59,087	2.0%	79%
兵庫県	54,299	5.2%	63,750	-2.0%	75,905	2.1%	59,167	1.9%	79%
鳥取県	41,496	-0.5%	50,768	-0.1%	57,590	-4.6%	45,834	-1.4%	61%
岡山県	45,925	-0.1%	56,531	2.8%	62,340	-0.1%	50,566	1.2%	67%
島根県	47,571	3.4%	55,477	2.2%	64,164	2.9%	51,530	3.3%	69%
広島県	48,288	0.9%	61,783	2.9%	71,474	2.8%	53,273	1.6%	71%
山口県	39,929	-1.4%	51,219	-0.6%	58,150	0.9%	43,977	-2.0%	59%
徳島県	43,670	1.5%	51,654	-1.4%	70,616	3.7%	49,964	-0.3%	67%
香川県	43,957	2.9%	50,191	1.0%	59,170	-1.0%	47,466	1.7%	63%
愛媛県	41,720	-0.8%	50,152	-3.5%	55,866	-1.5%	45,998	-1.4%	61%
高知県	42,375	0.5%	54,898	1.7%	62,718	-1.8%	47,563	1.1%	63%
福岡県	51,019	4.0%	69,159	4.7%	74,500	0.6%	58,012	3.3%	77%
全国	50,679	1.2%	59,681	1.3%	68,607	0.4%	54,777	1.0%	73%

※資料出所：(株)全管協共済会 小額短期保険契約実績より

※総平均賃料は、1部屋から3部屋まですべてのデータより算出したものです。

■お客様から当グループへの物件問い合わせ家賃動向(参考)

各保有者による当月の物件販売実績動向(参考)							7年3月未調査	
所在地	1部屋		2部屋		3部屋		総平均賃料	
	(円)	前年同月比	(円)	前年同月比	(円)	前年同月比	(円)	前年同月比
広島市/廿日市	54,388	3.9%	71,142	9.0%	84,513	8.6%	62,719	5.4%
三原市	45,534	-6.2%	52,063	-5.1%	49,200	-17.8%	48,192	-7.4%
福山市	44,473	-7.8%	53,601	-12.7%	59,017	-9.8%	50,126	-10.4%
倉敷市	43,836	0.8%	56,997	4.2%	66,667	3.0%	51,535	2.7%
岡山市	42,454	-4.7%	54,731	-4.2%	63,333	-6.2%	48,220	-7.4%

賃貸経営者が知っておきたい “あれ屋これ家” 税務編 132



岡山さくら税理士法人
代表税理士 吉田陽介

皆様こんにちは。米の
価格が下がらない中、
トランプ関税による景
気への影響も懸念され
ています。

今夏の参議院選挙を
控え、消費税減税を求
める声が多くなっています
が、消費税1%に
つき約2.5兆円の税
収とも言われており、
政府は消費税減税に
は否定的です。今後の
動向が注目されます。

さて、令和7年度税制
改正を年明けからシ
リーズでお伝えしてい
ます。令和7年度税制
改正の主な項目とし
て、①年収103万円
の壁、②子育て世帯の
生命保険料控除拡充、
③子育て世代の住宅
ローン控除拡充、④確
定拠出型年金の改正、
⑤防衛特別法人税の
新設があります。今月
は③を説明します。

昨年（令和6年）から
住宅ローン控除が改正
され、控除対象となる
借入限度額などが縮

小されたのですが、例外として、子育て世代が認定住宅等を新築した場合に限り、改正前の借入限度額や床面積条件を1年だけ延長する緩和措置がありました。この緩和措置がさらに1年延長されました。

A対象者：夫婦のいずれかが40歳未満の者又は19歳未満の扶養親族を有する者。B住宅ローン控除の借入限度額：認定住宅5,000万円、ZEH水準省エネ住宅4,500万円。C床面積：令和7年末までに建築確認を受けることを条件に床面積40m²以上。この緩和措置により、認定住宅の場合は13年間で最大455万円の税額控除を受けることが可能です。なお、一般住宅や中古住宅は緩和措置の対象外ですので注意が必要です。

「令和7年度税制改正」その5